



まちの話題

市内の話題を紹介



5/26 恒久平和を願い演舞

第42回岩崎城絵幟まつり

第42回岩崎城絵幟まつり(同実行委員会主催)は、岩崎城址本丸跡で開催されました。同まつりはかつてこの地を治めた和賀氏をしのぶとともに恒久平和を願うため開催。会場には約200人が訪れました。

岩崎鬼剣舞の舞の奉納を皮切りに、岩崎鬼剣舞スポーツ少年団や外島神楽などが祝舞を披露しました。

同少年団の小原莉里杏さん(いわさき小6年)は「振り付けを間違えず踊れた」と笑みを浮かべました。

5/26 深緑の山を堪能

田中陽希とトレッキングin国見山

田中陽希とトレッキングin国見山(NPO法人フォルダ主催)は、the campusと国見山で開催され、県内外から約160人が参加しました。

参加者は約10kmのコースをアドベンチャーレーサーの田中陽希さんと登り、深緑の木々に包まれる登山道や眼下に広がる壮大な景色を堪能しました。

中野幸子さん(64歳・青森県五所川原市)は「思った以上に楽しかった。また来たい」と笑顔で話しました。



6/2 互いを理解し合い、みんなでまちづくり

きっかけづくりプロジェクト

多文化共生のための「きっかけ」づくりプロジェクト Shared future は、生涯学習センターで開催されました。ALTや市内企業に勤める外国人と日本人計30人が参加。自己紹介ゲームやごみの分別体験で交流を深めました。

千田彩稀さん(専大北上高3年)は「みんなで交流できるいい機会」、カナダ出身のマクレス・マーティンさんは「ごみの分別は勉強になった」と話しました。



6/8 ご利益あるかな? 神社で利き酒

KITAKAMI 酒フェス

第2回KITAKAMI酒フェス(EN-D0企画主催)は、諏訪神社で開催されました。県内五つの蔵元の純米酒が飲み比べできるほか、地ワイン、地ビールなどさまざまな飲食が出店し、多くの人でにぎわいました。

市内の三浦ぶどう園はワインとブドウジュースを提供。家族で訪れた久保加奈子さん(47歳・里分)は赤ワインを、娘の咲華さん(14歳)はジュースを注文し「酸味が強めだけれどおいしい」と味わっていました。

6/1

鬼の文化を発信する拠点として節目の年を祝う

鬼の館開館30周年記念式典

平成6年に全国的にも珍しい鬼をめぐる事柄や資料の収集、調査して学び合う場として開館した鬼の館が今年で30周年を迎え、同館で記念式典が執り行われました。関係者と一般参加者約150人が出席し、和賀東中学校特設剣舞部の礼舞で華やかに開会。芸能公演では岩崎鬼剣舞と滑田鬼剣舞が一人加護や三人加護をそれぞれ披露し、式典に華を添えました。

八重樫市長は「市民憲章第一節に『あの高嶺 鬼す



む誇り』とあるように、鬼剣舞をはじめ、鬼を地域文化の象徴として大切にしてきた。今後とも鬼の文化などを発信し、鬼研究のための貴重な研究施設としてさらなる飛躍を目指していく」とあいさつしました。



5/25 優れた詩歌作品集を顕彰

第39回詩歌文学館賞贈賞式

前年に刊行された中から最も優れた作品集の功績をたたえる詩歌文学館賞贈賞式は、日本現代詩歌文学館で開催されました。

詩歌部門は松岡政則さんの「ちべたくちべた」、短歌部門は三井ゆきさんの「水平線」、俳句部門は正木ゆう子さんの「玉響」が受賞。三井さんは「北上川を眺めながら感謝の気持ちやいろいろな思いをゆっくりと噛みしめたい」とあいさつしました。

5/1- JR北上線全線開通100周年記念

西和賀町立川村美術館所蔵展in江釣子

江釣子地区自治振興協議会は、西和賀町出身の故・川村画伯の作品を江釣子地区交流センターで展示しています。JR北上線が今年で全線開通100周年を迎えることから、作品を通して沿線をつなぎ盛り上げようと企画されました。

展示されているのは、同美術館所蔵の油彩画を中心とした作品11点で、独特な色使いの絵画が楽しめます。同展は6月30日まで開催されます。

